

「Chromebook持ち帰り」で学校と家庭の学びをシームレスに ～戸二っ子の可能性を引き出す「個別最適な学び・家庭Version」の実現～

● 実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

一人一人が個別アカウントによりアクセスする教育クラウド※を使うことで、学校での学びと家庭での学びがつながり、連続的な学びを行うことが可能になります。
※市が導入するG-suite for Educationやロイロノート・スクール、ミライシードなどの学校支援システムなどのこと

① 個別最適な学び

学校と家庭の両方でできる学び

一人一台端末のフル活用

② 協働的な学び

学校でしかできない学び

指導の個別化

- 支援が必要な子供に重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現
- 特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定

学習の個性化

- 子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する

- 探究的な学習、体験活動等を通じ、子供同士であるいは多様な他者と協働しながら学ぶことができる外部人材などの招聘、オンライン参加
- 一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す工夫

- 「ドリルDXの日」スマイルネクストドリル、ドリルパーク、キュビナ等のAI型ドリルの活用
- 学習履歴（スタディログ）をe-ポートフォリオで蓄積、戸二小メタバース美術館に展示
- Google Classroomの活用
- Google Workspaceの活用

- 「T2学びの日」「T2学びの日DX」の推進
- 子供一人一人の問題発見を重視
- 子供を信じて、任せる指導
- Google Classroomの活用

- PBLを生活・総合だけでなく、他教科等にも波及（学びのPBL化）
- 学部人材（有識者、学校応援団等）の招聘、オンライン参加
- 思考ツール（ICT、まなボード等）の活用
- リアルな体験重視とICTによる相互記録
- 同一学年・学級・異学年間の学びやICT活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いづくり
- 戸二小メタバース美術館「T2 MUSEUM」の活用による相互鑑賞

令和の日本型学校教育
 （家庭Version）を推進

水・金曜日

T2学びの日、T2学びの日DXに、児童が選択し活用

月曜日

ドリルDXの日で活用

火・木曜日

学年に応じて課題を検討

※Chromebook持ち帰りは、個別最適な学びの推進にあり。